

ふるさと未来講座「芸術・文化」福井②

くらしの中にあるアートを見つけよう！

日時:令和7年12月6日(土) 10:00~11:30

講師:美術家、福井工業大学環境学部デザイン学科 教授 浅野 桃子 氏

会場:福井県生活学習館(ユウ・アイ ふくい) 映像ホール



「アートとは何か?」「美しさとは何か?」という根源的な問いに対して、アーティストであり研究者でもある先生ならではの視点で深く掘り下げていただいた講座でした。「これはなんだろう」「わからない」という感情を抱くことが、「美しさ」に出会うためのコツであるということをお教えました。

ワークショップでは、紙に貼られた黒丸シールが何に見えるかを想像し、それぞれが思い思いの絵を描きました。受講者の方々は、「これはなんだろう」と頭を悩ませながらも、夢中で取り組んでいました。

受講された方々からは、「イメージがふくらみ楽しい時間となりました」「日常の物の見方が変わった」「わからないという気持ちは、様々なプラス作用があることに気づきました」「心の動きをもっと大切に生きていきたいと思います」などの感想が寄せられました。



令和7年12月6日実施 ふるさと未来講座「芸術・文化」福井②

『くらしの中にあるアートを見つけよう!』



くらしの中のアートな発見アンケート

講座受講後の、アートの楽しみ方の変化についてアンケートを行いました。
多くのご回答ありがとうございました。(募集期間：講座終了後～12月26日)

Q1. 「面白いな」「きれいだな」とじっくり見てみたものはありますか？

- イチョウの落ち葉を掃除、いつもは、イヤイヤしていた作業ですが、一枚一枚の落ち葉がアートに感じ、駐車場の一辺にイチョウの葉を数十枚並べ、更に新たなアートを発見し、楽しい気持ちになった
- スポーツジム浴場の壁面。立体的にこいのぼり・鮭のうろこに見えてきて、躍動感を覚えた
- 空の雲、田んぼの後に真っ直ぐに生えているグリーン、田んぼの水に反射するキラキラ、九頭竜川と山々の色、川水面が反射でキラキラ、福井市内から見える奥越方面の山の雪化粧

Q2. ものの見方や考え方について、「ちょっと変わったな」と感じたことはありますか？

- 時々、水彩画に挑戦しているが、以前スケッチした冬景色の色塗りで、雪は白との概念で中々上手く描くことができなかつたが、白では無く薄い青を入れてみたら、自慢の絵になった。これからも概念を捨てた考え方をしていこうと思った
- なぜ、どうやってあの景色は見えてるのか？と想像が強くなってきた
- 空をキャンパスに見立てる
- 自分の手に注目するようになった

Q3. 日常の中で「作ること」に関して工夫してみたことはありますか？

- 楽器演奏の際、見えた色彩をイメージして演奏するようになった
- 写真で残した感じたコトバを添えて、インスタストーリーにアウトプットしている色をイメージしたコラージュ遊びをするミニ企画を開催して参加者と楽しんだ
- 石や砂海岸の漂着ゴをミ使ってアート作品

Q4. 日常にあるものを「アートだな」「面白いな」と感じて楽しむ瞬間はありましたか？

- 2階に干してある洗濯ものが風ではためいているのをみた時
- 真っ青な冬空になびく山の稜線。潔いほどくっきり堂々とした佇まい期間限定のアートを満喫した
- 色をイメージしたコラージュ遊びをするミニ企画を開催して参加者と楽しんだ。同じ色でも、それぞれイメージが異なる作品が仕上がり、面白いと感じた